

防災・減災部門

応募事例名

都と市町村の連携による雨天時浸入水対策 ～絞り込み手法の共有と市町村支援～

応募団体名)東京都下水道局

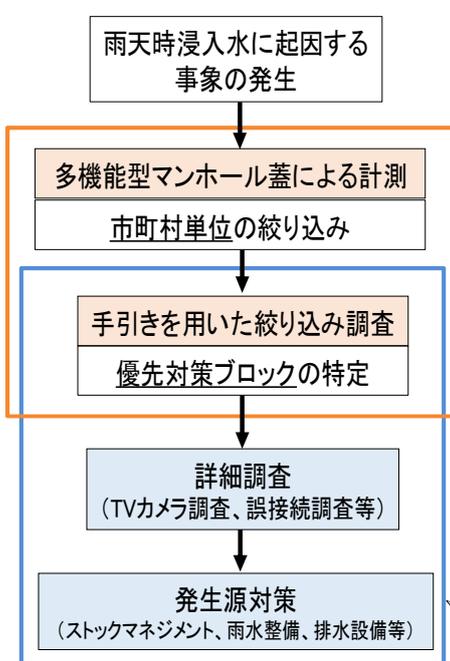
応募事例の概要

○雨天時浸入水対策の課題

- ・東京都多摩地域の大部分は、都の流域下水道と市町村の流域関連公共下水道により構成され、うち約8割が分流式下水道
- ・近年、雨天時浸入水により溢水等の被害が発生しているが、市町村の対策にあたり、「①浸入水量の多いブロックの絞り込み手順等が定められていない」、「②調査や発生源対策のための負担が大きい」ことが課題



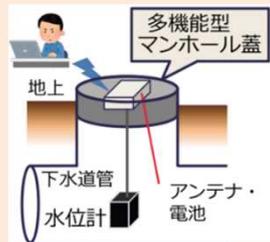
雨天時浸入水による溢水被害



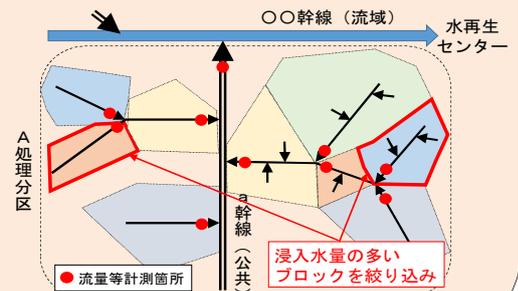
雨天時浸入水対策の手順

取組①雨天時浸入水絞り込み手法の共有

- ・下水道管内の水位等のデータをリアルタイムで計測する多機能型マンホール蓋を設置し、市町村単位で絞り込み
- ・流量調査の手順や分析手法等を整理した「絞り込み調査の手引き」を都が独自に作成し、浸入水量の多い優先対策ブロックを効果的に特定する手法を確立



多機能型マンホール蓋による計測



優先対策ブロックの特定

取組②市町村への技術支援、財政支援

- ・「手引き」を用いた都と市町村の勉強会を行うなど、絞り込みや発生源対策の技術を支援
- ・雨天時浸入水対策に活用可能な強靱化都費補助制度を新たに創設し、財政面から支援



市町村との勉強会

PRポイント

- (1)これまで各市町村が個別に実施していた絞り込み調査について、多機能型マンホール蓋や「手引き」の活用により、**効果的な優先対策ブロックの選定方法を市町村と共有化!**
- (2)都が独自に作成した「手引き」に関する勉強会や、発生源対策に関する情報共有を定期的を実施し、**市町村の雨天時浸入水対策を継続的に支援!**



東京都 下水道局
流域下水道本部技術部
市町村下水道担当課長
持田 智彦

取組みに関するエピソード

今回、都がオリジナルで作成した「絞り込み調査の手引き」は、都や先行する市町村がこれまで実施した流量調査や、浸入水の多いブロックを絞り込んだ実績・手法を参考に作成したもので、利用する市町村の視点に立ち、より使いやすく、わかりやすい手引きとなるよう工夫しました。

今後も効果的な優先対策ブロックの特定や対策につなげられるよう、勉強会等を通じて都と市町村が連携し、雨天時浸入水対策を進めていきます。